

2020年3月期 決算説明資料

2020年3月期 決算説明

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前期比
売上高	947	930	▲1.8%
営業利益	56	18	▲68.8%
経常利益	60	16	▲73.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	39	▲42	-
営業利益率	6.0%	1.9%	▲4.1pt.
ROE	6.5%	▲7.4%	▲13.9pt.

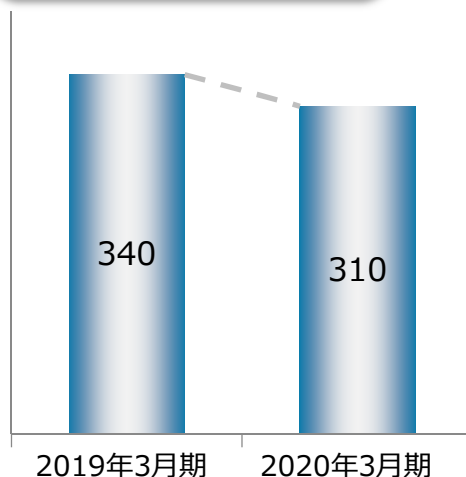
◆主に半導体市況の低迷や、

前期あった特殊要因（製品保証引当金の戻入）がなくなったことで、減益。

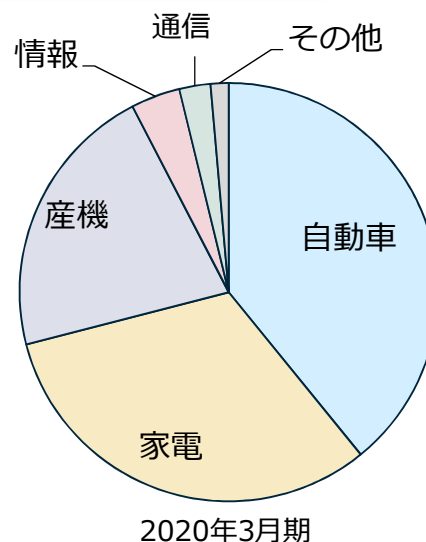
◆繰延税金資産の取崩しにより、最終損益が赤字に。

連結業績（デバイス）

セグメント別売上高



市場分類別構成比



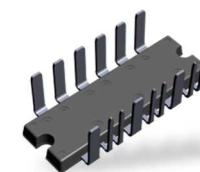
事業概要

【主要製品】

- ・ダイオード
- ・MOSFET
- ・パワーIC、パワーモジュール
- 他

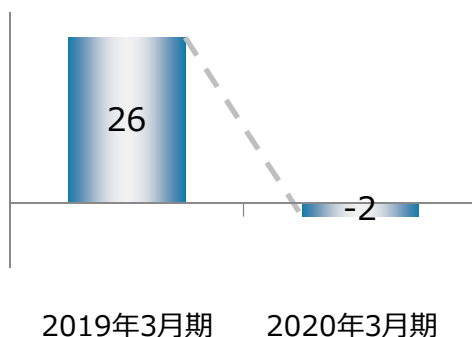


ブリッジダイオード
D35XB80



パワーモジュール
MG031

セグメント別営業利益



市場動向

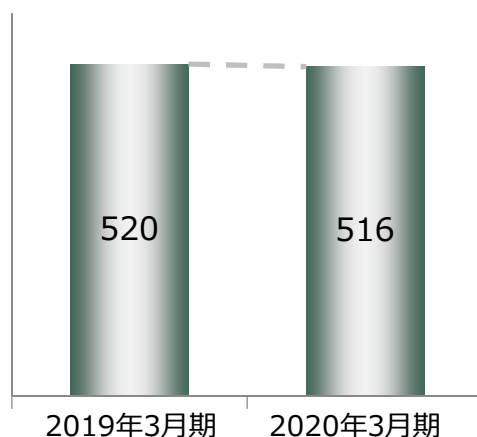
米中貿易摩擦などの影響により、半導体需要の冷え込みが継続。

当社の状況

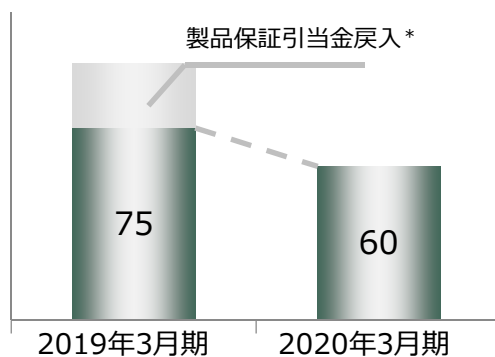
主力の自動車、産機、家電市場がそれぞれ低調に推移。
減収の影響および稼働率の低下等により、営業損失を計上。

単位：億円（億円未満四捨五入）

セグメント別売上高



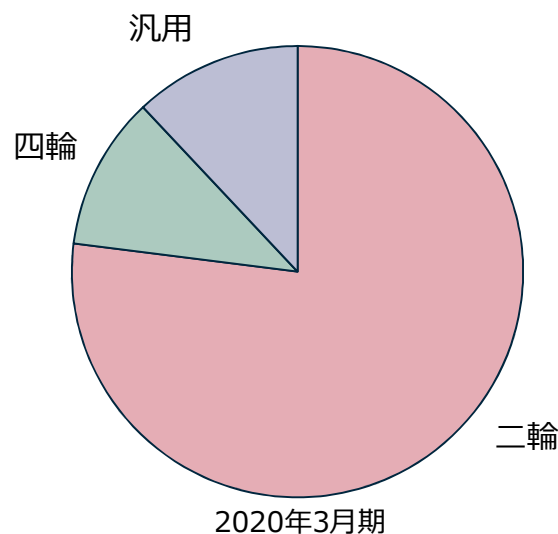
セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）

* 2019年3月期において、製品保証引当金のうち、約25億円を営業費用として戻入いたしました。

製品分類別構成比



市場動向

アジア二輪市場は、インドネシアは堅調に推移したものの多くの地域で伸び悩み。

当社の状況

インドでは下期投入した新製品効果があらわれたが、製品構成の変化やアジア通貨安の影響を受け、減益。

事業概要

【主要製品】

- ・ 二輪車用レギュレータ、CDI、ECU
- ・ 四輪車用DC/DCコンバータ
- ・ 発電機用インバータ

他

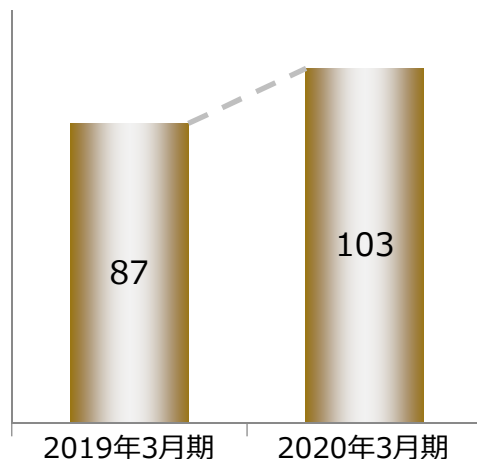


二輪車向けECU



レギュレータ

セグメント別売上高



事業概要

【主要製品】

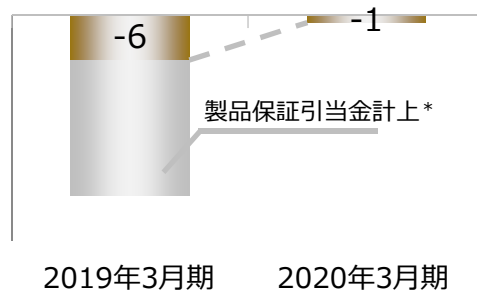
- ・ 通信装置用整流器
- ・ EV/PHEV用充電器
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ アクチュエータ

他



通信装置用整流器

セグメント別営業利益



パワーコンディショナ



EV/PHEV用充電器



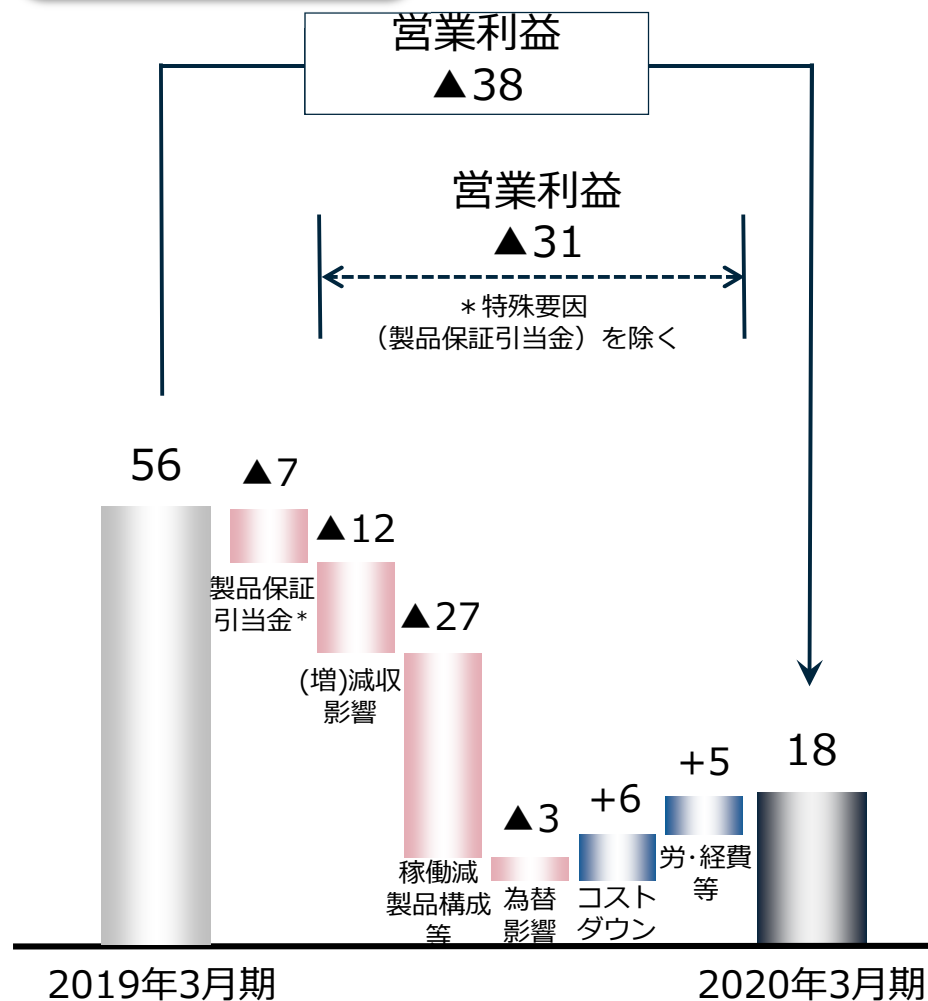
アクチュエータ

単位：億円（億円未満四捨五入）

* 2019年3月期において、約18億円を製品保証引当金として営業費用に計上いたしました。

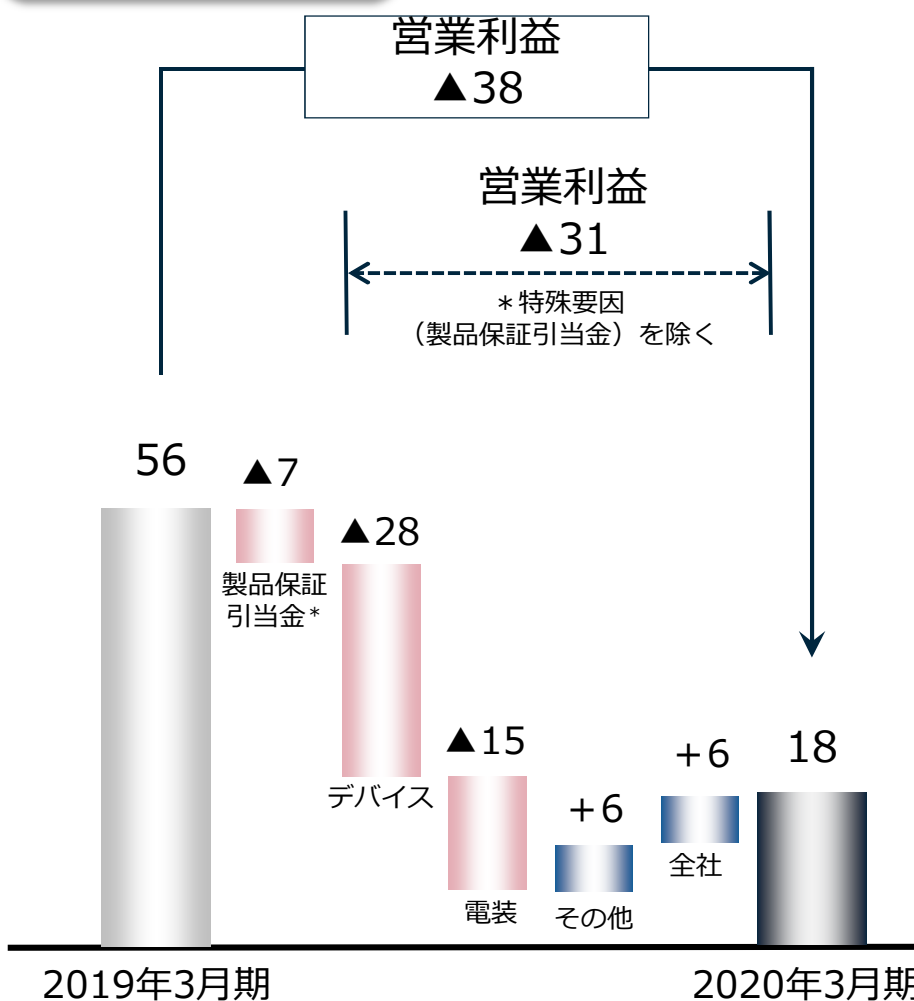
営業利益の増減（前期比）

要因別増減益分析



セグ別増減益分析

単位：億円（億円未満四捨五入）



* 2019年3月期において、電装事業では製品保証引当金のうち、約25億円を営業費用として戻入いたしました。
またその他事業では、約18億円を製品保証引当金として営業費用に計上いたしました。

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2019年3月期	2020年3月期	増減
流動資産	799	735	▲8.0%
固定資産	488	481	▲1.5%
資産 合計	1,287	1,216	▲5.5%
流動負債	301	294	▲2.3%
固定負債	391	389	▲0.4%
負債 計	692	683	▲1.2%
純資産	595	532	▲10.5%
総資産 合計	1,287	1,216	▲5.5%
自己資本比率	46.2%	43.8%	▲2.4pt.
有利子負債残高	278	272	▲1.9%

- ◆ 新事業所の建設仮勘定を固定資産に計上。
- ◆ 繰延税金資産約39億円を固定資産から取崩し。

補足指標等

設備投資・減価償却・研究開発

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前期比
設備投資	70	94	+34.8%
減価償却費	50	52	+4.1%
研究開発費	56	50	▲9.5%

為替レート

単位：JPY/USD

	2020年3月期 実績
換算為替レート	109.37
平均為替レート	109.26

配当金

1株あたり配当金（年間）
2020年3月期
期末配当金

62.5円

を予定

（前年比－62.5円）

- ◆ 新事業所の建設着手金などで、設備投資が大きく増加。
- ◆ 配当金は、業績に鑑み減配の予定。

2021年3月期 業績予想

連結業績予想

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	前期比
売上高	930	業績予想 未定 今後、算出が可能となった時点で、 速やかに公表いたします。	
営業利益	18		
経常利益	16		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲42		
営業利益率	1.9%		
ROE	▲7.4%		

- ◆新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、
当社グループに与える影響を合理的に算出することが困難であるため、未定といたします。

新型コロナウイルス感染症の影響

主要製造拠点の状況

6月3日時点

セグメント	製造拠点の状況
デバイス	フィリピン：外出・移動制限等により、一時的に操業停止。現在は一部操業中。 ※その他拠点は通常操業中。
電装	インド：ロックダウンの影響により約2か月操業停止。現在一部で操業再開。 インドネシア・ベトナム・タイ・中国・日本：需要減により生産調整を実施中。

資金調達

資金調達

手元流動資金を手厚くし、経営基盤の更なる安定へ

資金調達額	17,500百万円
借入先	みずほ銀行/埼玉りそな銀行/ 三井住友銀行/三菱UFJ銀行/ 山形銀行/秋田銀行
諸条件	無担保・無保証

人工呼吸器用に部品供給

当社関係会社の新電元メカトロニクスでは、人工呼吸器用にソレノイドを供給。

メーカー各社の
需要急増に伴い
急ピッチで生産対応中



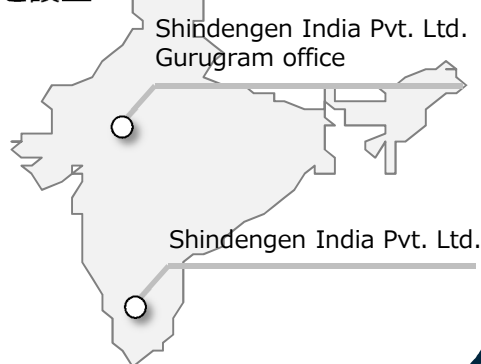
※イメージ図

トピックス

インド拡販の取組み

独資工場進出

インドバンガロールで製造工場を設立



ECU生産開始

2020年4月適用開始した排ガス規制、BS6（バラート・ステージ）に対応したECU^{*1}の量産を開始



※ECU

EV化

インド政府は大気汚染対策として、2030年を一つのターゲットとして、EV化へ移行していくことを目標としている。

当社は、国内での二輪EV向けPCU^{*2}の量産実績をもとに、インド向けのPCUを開発し、現地各社へPRを展開中。



※2kW PCU

*1：電子制御ユニット
*2：パワーコントロールユニット

2012年

2018年

2019年

2030年

工場拡張

拡大する二輪市場の需要に備え、工場を拡張。強化される排ガス規制に向け、当社の技術力を武器に、新たに現地ローカルメーカーへの拡販も推進。



※新電元インディア

ピックアップ

2020年2月にニューデリーで開催されたモーターショー「AUTOEXPO2020」に出展。二輪EV向けPCUやDC/DCコンバータを展示し、今後拡大が見込まれるインドEV市場でいち早く当社製品をPR。



※AUTOEXPO2020
展示ブース

急速充電器普及に向けた取組み

多くの企業と連携し、EV普及に向けた活動を推進しています。



※関西電力実証実験のため、
コーナン西宮今津店への設置例



Mercedes-Benz

NISSAN
MOTOR CORPORATION



発電機向けインバータ供給

災害時に電力供給で活躍するポータブル発電機用の正弦波インバータを生産しています。



※2kVA AC-ACインバータ

2020年3月
累計出荷数500万台突破



- 新電元タイランド・・・ラオスで発生の洪水災害地へ物資支援
- ランブーン新電元・・・Green Industry企業賞受賞
- 新電元フィリピン・・・環境保護活動の一環として植樹活動に参加
- 新電元ベトナム・・・不法投棄対策としてごみ焼却炉建設へ寄付

**グループ全体で低炭素社会の実現に向けた
取組みを推進しています。**

ご清聴ありがとうございました。

Appendix

単位：百万円（百万円未満切捨て）

◆セグメント別連結売上高（上・下）実績、予想

	2020年3月期 実績						2021年3月期 予想					
	上期		下期		通期		上期		下期		通期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
デバイス	15,447	34.0%	15,542	32.7%	30,989	33.3%	未定					
電装	25,573	56.3%	26,063	54.8%	51,637	55.5%						
その他	4,410	9.7%	5,928	12.5%	10,338	11.1%						
合計	45,431	100%	47,533	100%	92,965	100%						

◆セグメント別連結営業利益（上・下）実績、予想

	2020年3月期 実績						2021年3月期 予想					
	上期		下期		通期		上期		下期		通期	
	営利	利益率	営利	利益率	営利	利益率	営利	利益率	営利	利益率	営利	利益率
デバイス	△52	－	△189	－	△241	－	未定					
電装	3,219	12.6%	2,803	10.8%	6,022	11.7%						
その他	△298	－	177	3.0%	△121	－						
調整額	994		763		1,757							

※連結営業利益は、セグメント間の内部売上高を含んだ数値で算定しています。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

◆全製品 市場分類別売上高構成比（前期比較）

市場分類	2019年3月期	2020年3月期	
	構成比	構成比	売上高増減率
通信	6.6%	7.9%	14.9%
情報	1.7%	1.5%	△17.0%
自動車	57.9%	56.6%	△5.9%
産業	20.1%	21.0%	0.5%
家電	12.8%	12.3%	△7.4%
その他	0.9%	0.7%	△20.4%
合計	100.0%	100.0%	△3.7%

◆半導体・IC製品群 市場分類別売上高構成比（前期比較）

市場分類	2019年3月期	2020年3月期	
	構成比	構成比	売上高増減率
通信	2.5%	2.4%	△12.4%
情報	4.1%	3.8%	△14.4%
自動車	38.4%	39.2%	△7.7%
産業	22.3%	21.4%	△13.1%
家電	31.2%	31.8%	△7.4%
その他	1.5%	1.4%	△16.6%
合計	100.0%	100.0%	△9.3%

◆半導体製品群別売上高構成比（前期比較）

市場分類	2019年3月期	2020年3月期	
	構成比	構成比	売上高増減率
ダイオード	80.5%	80.2%	△9.6%
サイリスタ	3.2%	3.2%	△9.2%
IC	5.4%	5.4%	△9.7%
スイッチング素子	2.8%	3.4%	10.6%
パワーモジュール	8.1%	7.8%	△12.6%
合計	100.0%	100.0%	△9.3%

※上記比率は、新電元単独のデータを元に算出しています。